

京都市立芸術大学及び京都市立銅駝美術工芸高等学校
移転整備工事設計業務委託に係る公募型プロポーザル

評価要領

1 評価基準

評価の項目、配点及び基準は、別表による。

2 評価の方法

- (1) 「京都市立芸術大学及び京都市立銅駝美術工芸高等学校移転整備工事設計業務委託に係る公募型プロポーザル募集要領」（以下、「募集要領」という。）に基づく参加資格の確認の結果、参加資格を有すると認められた者（以下、「参加有資格者」という。）を対象に、「京都市執行機関の附属機関の設置に関する条例」に基づき設置する「京都市立芸術大学移転整備工事設計業務受託者選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）が審査する。
- (2) 選定委員会は、第一次審査として、参加有資格者から提出された技術提案書の第1号様式から第6号様式までについて書面審査を行う。
- (3) 選定委員会は、第二次審査として、第一次審査を通過した者を対象に、技術提案書の第7号様式及び第8号様式までの評価に際してヒアリング審査（プレゼンテーション及び質疑応答）を行う。
- (4) 第一次審査において、第二次審査の対象者を5者程度選定する。
- (5) 選定委員会は、第一次審査と第二次審査の総合評価点により、受託候補者1者及び第2位、第3位の計3者を選定する。ただし、総合点が150点未満の者は、受託候補者及び第2位、第3位に選定しない。
- (6) 選定委員会は、別表に基づき技術提案書の内容を評価し、参加有資格者の評価点を決定する。
- (7) 評価点が同点の者が2者以上いる場合の順位は、選定委員会が審議して決定する。

3 審査の日程等

下記日程で第一次審査及び第二次審査を行う。

- (1) 第一次審査
平成29年7月5日（水）の実施を予定している。
- (2) 第二次審査
平成29年8月30日（水）の実施を予定している。
なお、詳細な日時及び場所については、第一次審査結果の通知と併せて、対象者に通知する。

京都市立芸術大学及び京都市立銅駝美術工芸高等学校移転整備工事設計業務委託に係る公募型プロポーザル評価基準

(1) 第一次審査(書面審査)

【120点】

ア 業務実施の体制、進め方等

(ア) 設計事務所の規模等

【10点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点
①有資格者数※ ¹	一級建築士の数	A 20人以上	8	8
		B 15人以上20人未満	6	
		C 10人以上15人未満	4	
		D 5人以上10人未満	2	
		E 5人未満	0	
②瑕疵担保力	損害賠償保険の加入状況※ ²	A 5千万円以上の保険加入	2	2
		B A又はC以外	1	
		C 保険未加入	0	

※1 自社の常勤社員に限る。共同企業体にあつては、構成員の合計とする。協力事務所は含まない。

※2 共同企業体にあつては、構成員のうち最小補償額をもって評価し、1者でも未加入の場合にはC評価とする。

(イ) 管理技術者の実績等

【10点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点
①業務実績の参考度	同種業務の実績の本業務への参考度	A 非常に参考になる	8	8
		B 参考になる	6	
		C 普通	4	
		D やや参考にならない	2	
		E 参考にならない又は実績なし	0	
②業務繁忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	A 1件以下	2	2
		B 2件	1	
		C 3件以上	0	

(ウ) 設計担当主任技術者の実績等

【10点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点
①業務実績の参考度	同種業務の実績の本業務への参考度	A 非常に参考になる	8	8
		B 参考になる	6	
		C 普通	4	
		D やや参考にならない	2	
		E 参考にならない又は実績なし	0	

②業務繁忙度	委託期間内における手持業務件数	A 0件	2	2
		B 1件	1	
		C 2件以上	0	

(エ) 実施体制, 進め方, 品質・コスト・スケジュール管理

【30点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点
実施体制, 進め方, 品質・コスト・スケジュール管理	<ul style="list-style-type: none"> ・体制の妥当性 (チームの特長, 担当者数, 責任の所在), 協力事務所との関係, 会社としてのバックアップ体制の妥当性 ・設計の進め方・プロセスの妥当性, 取組意欲や対話姿勢 ・建築物としての性能確保やコスト・スケジュール管理に関する基本方針の妥当性 ・その他評価に値すべき事項 	A 極めて評価できる	30	30
		B 評価できる	22.5	
		C 普通	15	
		D やや評価できない	7.5	
		E 評価できない	0	

イ キャンパス計画についての設計の基本方針等

【50点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点
キャンパス計画についての設計の基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的, 内容, 基本計画及び基本コンセプト等の理解度 	A 極めて評価できる	10	50
		B 評価できる	7.5	
		C 普通	5	
		D やや評価できない	2.5	
		E 評価できない	0	
	<ul style="list-style-type: none"> ・設計コンセプトやテーマ①～②に対する基本方針の妥当性, 創造性 	A 極めて評価できる	30	
		B 評価できる	22.5	
		C 普通	15	
		D やや評価できない	7.5	
		E 評価できない	0	
	<ul style="list-style-type: none"> ・その他評価に値すべき事項 	A 極めて評価できる	10	
		B 評価できる	7.5	
		C 普通	5	
		D やや評価できない	2.5	
		E 評価できない	0	

ウ 見積金額

【10点】

評価項目	評価基準	配点	満点
見積金額	A=最低金額以上, (最低金額+(予定価格-最低金額)×1/5) 未満	10	10
	B=(最低金額+(予定価格-最低金額)×1/5) 以上, (最低金額+(予定価格-最低金額)×2/5) 未満	8	
	C=(最低金額+(予定価格-最低金額)×2/5) 以上, (最低金額+(予定価格-最低金額)×3/5) 未満	6	
	D=(最低金額+(予定価格-最低金額)×3/5) 以上, (最低金額+(予定価格-最低金額)×4/5) 未満	4	
	E=(最低金額+(予定価格-最低金額)×4/5) 以上, 予定価格以下	2	

(2) 第二次審査 (ヒアリング審査)

【180点】

ア 技術提案の評価項目に対する提案

【150点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点	
テーマ①: キャンパス計画のフレームについて	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容や課題の理解度 ・提案の創造性 (業務条件を踏まえつつ, 創造的な提案がなされているか) ・提案の的確性 (適切な着眼点, 解決方法等が提示されているか, 対話プロセスの妥当性) ・提案の説得力 (経験や実績等の反映度など) ・その他評価に値すべき事項 	A 極めて評価できる	40	40	
		B 評価できる	30		
		C 普通	20		
		D やや評価できない	10		
		E 評価できない	0		
テーマ②: 新たなキャンパスの具現化に向けて	テーマ①のフレームを踏まえたキャンパス全体の計画について	・業務内容や課題の理解度	A 極めて評価できる	40	70
		・提案の創造性 (業務条件を踏まえつつ, 創造的な提案がなされているか)	B 評価できる	30	
		・提案の的確性 (適切な着眼点, 解決方法等が提示されているか)	C 普通	20	
		・提案の実現可能性 (技術・コスト面など)	D やや評価できない	10	
		・提案の説得力 (経験や実績等の反映度)	E 評価できない	0	
	新たな視点での芸術の創造・研究・発信につなげていくための施設とシステムについて	・業務内容や課題の理解度	A 極めて評価できる	10	
		・提案の創造性 (業務条件を踏まえつつ, 創造的な提案がなされているか)	B 評価できる	7.5	
		・提案の的確性 (適切な着眼点, 解決方法等が提示されているか)	C 普通	5	
		・提案の実現可能性 (技術・コスト面など)	D やや評価できない	2.5	
		・提案の説得力 (経験や実績等の反映度)	E 評価できない	0	
	音楽ホールやギャラリー等の交流・発信スペースのあり方について	・業務内容や課題の理解度	A 極めて評価できる	10	
		・提案の創造性 (業務条件を踏まえつつ, 創造的な提案がなされているか)	B 評価できる	7.5	
		・提案の的確性 (適切な着眼点, 解決方法等が提示されているか)	C 普通	5	
		・提案の実現可能性 (技術・コスト面など)	D やや評価できない	2.5	
		・提案の説得力 (経験や実績等の反映度)	E 評価できない	0	

	景観特性等を踏まえたキャンパスデザインについて	など) ・その他評価に値すべき事項	A 極めて評価できる	10	
			B 評価できる	7.5	
			C 普通	5	
			D やや評価できない	2.5	
			E 評価できない	0	
テーマ③：実施体制・進め方、品質・コスト・スケジュール管理について	・体制の妥当性（チームの特長、担当者数、責任の所在）、協力事務所との関係、会社としてのバックアップ体制の妥当性 ・提案の履行体制の実現可能性、担保 ・取組意欲や対話姿勢 ・建築物としての性能確保やコスト・スケジュール管理に関する技術提案の妥当性・実現可能性・説得力（技術・コスト面、経験や実績の反映度など） ・その他評価に値すべき事項		A 極めて評価できる	40	40
			B 評価できる	30	
			C 普通	20	
			D やや評価できない	10	
			E 評価できない	0	

イ 設計者の対話能力

【30点】

評価項目	評価事項	評価基準	配点	満点
設計者の対話能力	<ul style="list-style-type: none"> ・説明と質疑の受け答えの明快さ ・意欲、熱意 ・真摯さ ・柔軟さ ・その他評価に値すべき事項 	A 極めて評価できる	30	30
		B 評価できる	22.5	
		C 普通	15	
		D やや評価できない	7.5	
		E 評価できない	0	